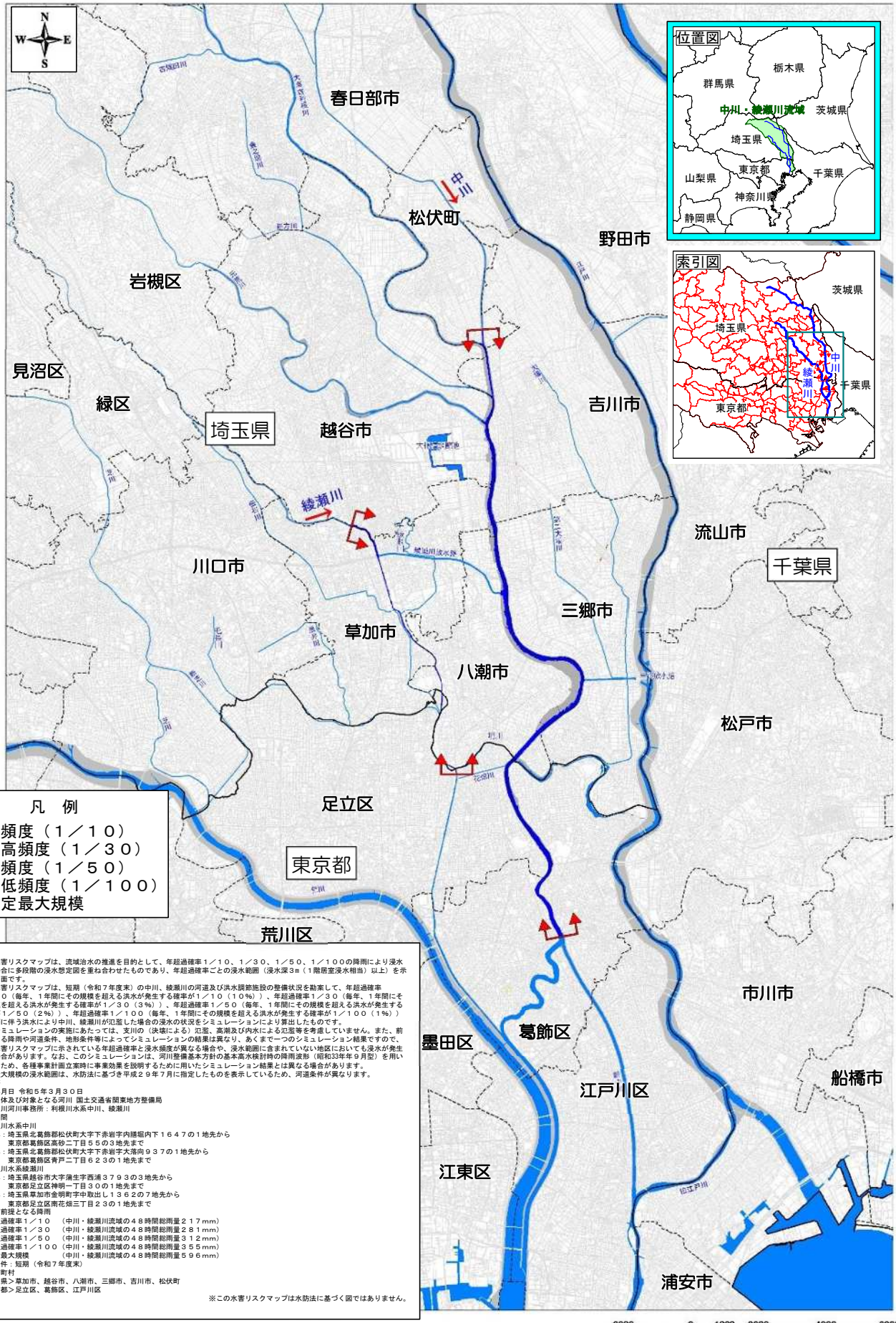
利根川水系中川・綾瀬川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（3.00m）【短期河道】



１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３m（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、短期（令和７年度末）の中川、綾瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（1％））の降雨に伴う洪水により中川、綾瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和33年年９月型）を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２９年７月に指定したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和５年３月３０日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省関東地方整備局
・江戸川河川事務所：利根川水系中川、綾瀬川

（３）実施区間
・利根川水系中川
左岸：埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字内膝堀内下１６４７の１地先から
東京都葛飾区高砂二丁目５５の３地先まで
右岸：埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字大落向９３７の１地先から
東京都葛飾区青戸二丁目６２３の１地先まで
・利根川水系綾瀬川
左岸：埼玉県越谷市大字蒲生字西浦３７９３の３地先から
東京都足立区神明一丁目３００の１地先まで
右岸：埼玉県草加市金明町字中取出し１３６２の７地先から
東京都足立区南花畑三丁目２３の１地先まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０　（中川・綾瀬川流域の４８時間総雨量２１７mm）
・年超過確率１／３０　（中川・綾瀬川流域の４８時間総雨量２８１mm）
・年超過確率１／５０　（中川・綾瀬川流域の４８時間総雨量３１２mm）
・年超過確率１／１００（中川・綾瀬川流域の４８時間総雨量３５５mm）
・想定最大規模　（中川・綾瀬川流域の４８時間総雨量５９６mm）

（５）河道条件：短期（令和７年度末）

（６）関係市町村
＜埼玉県＞草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
＜東京都＞足立区、葛飾区、江戸川区

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

※この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 250）